

93) 市田隆文, 宮際 幹, 清水幸裕, 宮林千春, 松井俊二郎, 樋口清博, 中野 護, 井上恭一, 佐々木博: PLC/DRF/5細胞 (in vitro) とヒト肝細胞癌 (in vivo) の電子顕微鏡的検討. 第1回ヒト細胞研究会, 1984, 12, 東京. (昭和58年度追加)

◆ その他

1) Sasaki H., Kojima T., Matsui S., Aoyama K., Higuchi K. and Inoue K.: Interaction of lymphocytes with hepatocytes bearing hepatitis B antigen: Ultra-structural investigation of target antigen and T cell subsets by means of peroxidase antibody technique, *Hepatology*, 4: 781, 1984.

2) Kojima T. and V. J. Desmet: Hepatitis B core antigen (HBcAg) in liver cell plasma membrane: Immunoelectron microscopic study; *Hepatology* 4: 780, 1984.

3) Aoyagi Y., Honma A., Suzuki Y., Isemura M., Ichida T., Sasaki H. and Ichida F.: Measurement of molecular variants of human α -fetoprotein in different reactivity with lectins and its use in the diagnosis of hepatocellular carcinoma; *Hepatology* 4: 795, 1984.

4) Nanasawa H., Tanaka M., Yonekawa M., Kasai Y., Nishisaka T., Kashima K. and Kuki J.: Experimental studies of Nd: YAG maser coagulation and their comparison with microwave coagulation, *日本レーザー医学会誌* 4: 239—240, 1984.

5) Nanasawa H., Tanaka M., Yonekawa M., Kasai Y., Nishisaka T., Kashima K. and Kuki J.: Experimental studies of laser photoradiation therapy (1)---Change of HpD characteristics by laser irradiation---: *日本レーザー医学会誌* 4: 55—56, 1984.

6) 佐々木 博: δ 抗原. 医学のあゆみ 131: 215—216, 1984.

7) 土屋雅春, 森 実敏, 西岡幹夫, 名倉 宏, 長島秀夫, 佐々木 博, 山田剛太郎, 松井俊二郎, 織田正也: 肝障害における血中および肝内浸潤リンパ球サブセットをめぐって (Discussion). 「消化器と免疫」No 13. 土屋雅春監修 247—271, 1984.

8) 谷川久一, 鈴木司郎, 吉沢浩司, 佐々木 博: ウイルス肝炎をめぐって. *medico* 15: 23—31, 1984.

9) Fujikura S., Tanaka M., Inatsuchi S., Nojiri H., Kubota Y., Shimada K. and Sasaki

H.: Ultrastructural study of peyefs patch, *J. Clin. Electron Microscopy* 16: 564—565, 1983. (関和58年度追加)

10) Shibata M., Kojima T., Aoyama K., Matsui S., Konda T., Ichida T., Inoue K. and Sasaki H.: Morphologic studies on the mechanism of hepatocellular injury in type A acute viral hepatitis. ---Immune electron microscopic observations: *J. Clin. Electron Microscopy* 16: 462, 1983. (昭和58年度追加)

11) Kubota Y., Inatsuchi S., Nojiri H., Shimada K., Fujikura S., Kojima T., Tanaka M. and Sasaki H.: Ultrastructure of the duodenal epithelium in endoscopically diagnosed duodenitis patients: *J. Clin. Electron Microscopy* 16: 943, 1983. (昭和58年度追加)

皮 膚 科 学

教	授	諸	橋	正	昭
講	師	池	田	和	夫
講	師	高	橋	省	三
講	師	須	藤	成	章
助	手	宮	入	宏	之
助	手	小	西	可	南
助	手	檜	垣	修	一
助	手	春	木	智	江
助	手	斉	藤	明	宏
文部技官		松	永	憲	治

◆ 著 書

1) 諸橋正昭: 脂腺の構造と機能. 「人体組織学第2巻」小川和朗他編, 326—339, 朝倉書店, 1984.

2) 諸橋正昭: 皮膚付属器疾患. 「エッセンシャルレクチャー皮膚科」池田重雄編, 259—272, メジカルビュー社, 1984.

3) 諸橋正昭: 電顕像からみた立毛筋の構造と機能. 「人体組織学第2巻」小川和朗他編, 323—326, 朝倉書店, 1984.

4) 諸橋正昭: 脱毛症. 「今日の治療指針. 1984年度版」石山俊二他編, 587, 医学書院, 1984.

5) 諸橋正昭: 鱗状毛包角化症 (土肥). 「講談社皮膚科診断治療大系第2巻」福代良一他編, 75, 講談社, 1984.

◆ 原 著

1) 諸橋正昭, 高橋省三, 鍛冶友昭: 肉芽腫性口唇炎. 皮膚病診療, 6: 921—924, 1984.

2) 諸橋正昭：酒皰様皮膚炎。日本医事新報，3118：121，1984。

3) 諸橋正昭：痤瘡の漢方療法。Seminaria Dermatologie, 44：17—22，1984。

4) 宮入宏之，諸橋正昭：血管平滑筋腫一特異な組織像を呈した1例とその電顕的検討一。皮膚科の臨床，26：431—436，1984。

5) 宮入宏之，諸橋正昭：悪性線維性組織球腫の電顕的検討。臨床皮膚科，38：767—774，1984。

6) 須藤成章，諸橋正昭：血管外皮細胞腫様構造を伴う悪性組織球腫の1例。皮膚科の臨床，26：519—526，1984。

7) 須藤成章，高橋省三，池田和夫，五十嵐良一，諸橋正昭：Mucinosis follicularis における特発型と菌状肉腫症を合併した症候型との比較について—モノクローナル抗体による組織浸潤リンパ球 subsets の検討を含めて—。日本皮膚科学会雑誌，94：681—694，1984。

8) 前田哲夫，宮入宏之，高橋省三，諸橋正昭：オレイン酸による実験的面皰の電子顕微鏡的研究。日本皮膚科学会雑誌，94：805—814，1984。

9) 三浦祐晶，堀 嘉昭，諸橋正昭，田上八朗：座談会「皮膚疾患と漢方」。漢方医学，8：3—11，1984。

10) 中部・北陸地区パデル臨床研究班，諸橋正昭，須藤成章，小田島陽子：0.1% Hydrocortisone butyrate propionate 軟膏の湿疹，皮膚炎群に対する臨床試験成績。皮膚，26：681—692，1984。

11) 岩崎光順，松井千尋：旭中央病院皮膚科3年間の真菌培養成績の検討。旭中央病院医報，6：2，391—393，1984。

12) 岩崎光順，松井千尋：Multicentric reticulo-histiocytosis の1例。旭中央病院医報，6：2，401—402，1984。

13) Miyairi, H., Takahashi, S., Morohashi, M.: Proliferating trichilemmal cyst an ultrastructural study. Journal of Cutaneous Pathology, 11：274—281，1984。

14) Hashimoto, K., Takahashi, S., Lee, R. G., Krull, E. A.: Congenital self-healing reticulohistiocytosis. Journal of American Academy of Dermatology, 11：447—454，1984。

15) Morohashi, M., Miyairi, H., Konishi, K., Takebayashi, Y., Maeda, T.: An electron microscopic study of sebaceous cell carcinoma. Journal of Clinical Electron Microscopy, 16：834—835，1983（昭和58年度追加）。

16) Miyairi, H., Morohashi, M.: An electron microscopic study of malignant fibrous histiocytoma. Journal of Clinical Electron Microscopy, 16：836—837，1983（昭和58年度追加）。

◆ 学会報告

1) Iacobelli, D., Fukaya, T., Takahashi, S., Hashimoto, K.: Ultraviolet light C irradiation produced only minimal epidermal Langerhans cell structural damage. The 45th annual meeting of the Society for Investigative Dermatology, 1984, 5, Washington, D. C. U. S. A.

2) 諸橋正昭：色素脱失症の病因と治療。日中皮膚科学術講演会，1984，5，北京。

3) 諸橋正昭：シンポジウム「皮膚科の将来像」。第83回日本皮膚科学会学術大会，1984，6，札幌。

4) 諸橋正昭，寺沢捷年：皮膚疾患の治療—漢方処方を選び方—。第3回皮膚科東洋医学研究会指定講演，1984，6，札幌。

5) 諸橋正昭：皮膚疾患と和漢薬。昭和59年度和歌山県医師会皮膚科分科会，1984，10，和歌山。

6) 須藤成章，諸橋正昭，小西 徹：皮下腫瘤を呈した乳児の悪性リンパ腫。第83回日本皮膚科学会学術大会，1984，6，札幌。

7) 檜垣修一，諸橋正昭，小西 徹，岡田敏夫：小児皮膚筋炎の1例。第8回日本小児皮膚科学会学術大会，1984，6，東京。

8) 鈴木敏彦，諸橋正昭，高橋省三：脂腺の電顕的研究—アンドロゲン投与と睾丸摘除術の影響—。第9回日本研究皮膚科学会，1984，7，横浜。

9) 前田哲夫，本好捷宏，諸橋正昭：ビタミンA酸の実験的面皰生成抑制作用の電子顕微鏡的研究。第9回日本研究皮膚科学会，1984，7，横浜。

10) 須藤成章，齊藤明宏，諸橋正昭：頭部の皮下腫瘤で初発した B-cell lymphoma。第35回日本皮膚科学会中部支部学術大会，1984，9，大阪。

11) 宮入宏之，齊藤明宏，諸橋正昭，山下直宏，矢野三郎：IgA・銅型骨髄腫を伴った角層下膿疱症。第35回日本皮膚科学会中部支部学術大会，1984，9，大阪。

12) 小西可南，池田和夫，諸橋正昭，寺沢捷年：当科における和漢外来の現況第2報—皮膚疾患と証との検討—。第83回日本皮膚科学会学術大会，1984，6，札幌。

13) 池田和夫，宮入宏之，齊藤明宏，諸橋正昭：Elimination 現象がみられた sarcoidosis。第83回日

本皮膚科学会学術大会, 1984, 6, 札幌.

14) 高橋省三, 松井千尋, 宮入宏之, 諸橋正昭, 西嘉美知春, 岡 伸夫: proliferating trichilemmal cyst の1例. 第48回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1984, 11, 浜松.

15) 須藤成章, 斉藤明宏, 高橋省三, 諸橋正昭: An immunoperoxidase study of lymphoma of the skin using monoclonal antibodies. 第9回日本研究皮膚科学会, 1984, 7, 横浜.

16) 小西可南, 池田和夫, 前田哲夫, 諸橋正昭: 脂腺癌. 第83回日本皮膚科学会学術大会, 1984, 6, 札幌.

17) 小西可南, 山中茂広, 高橋省三, 諸橋正昭, 古田 勲: Idiopathic gingival fibromatosis に合併した hypertrichosis の1例. 第20回日本皮膚科学会北信越合同学会, 1984, 11, 金沢.

18) 池田和夫, 春木智江, 檜垣修一, 小西可南, 高橋省三, 諸橋正昭: 当科における和漢外来の現状—皮膚疾患と証との検討—. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984, 9, 富山.

19) 須藤成章: 皮膚科領域におけるパラフィン切片による免疫組織学的研究について. 第6回富山免疫アレルギー研究会, 1984, 11, 富山.

20) 檜垣修一, 城石平一: 糖尿病性浮腫性硬化症の1例. 第310回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 9, 金沢.

21) 檜垣修一, 須藤成章, 高橋省三, 不破野ミドリ: Linear IgA bullous dermatosis. 第20回日本皮膚科学会北信越合同学会, 1984, 11, 金沢.

22) 檜垣修一, 山中茂広, 高橋省三: Xantho-granuloma. 第312回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 12, 金沢.

23) 春木智江: 診断例. 第309回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 6, 金沢.

24) 春木智江: サルコイドーシスの1例. 第310回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 9, 金沢.

25) 春木智江, 須藤成章: 菌状息肉症の1例. 第312回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 12, 金沢.

26) 高橋省三, 橋本 健: 細胞膜由来のランゲルハンス細胞顆粒. 第6回富山免疫アレルギー研究会, 1984, 11, 富山.

27) 服部邦之, 松本鍬一, 池田和夫: Annular elastolytic giant cell granuloma の1例. 第309回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 6, 金沢.

28) 山中茂広, 高橋省三: Sclerosing hemangioma. 第309回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 6, 金沢.

29) 関 太輔, 須藤成章: 肉芽腫性口唇炎. 第308回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 2, 金沢.

30) 松井千尋, 宮入宏之: proliferating trichilemmal cyst. 第308回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 2, 金沢.

31) 斉藤明宏, 池田和夫: Bowen 病. 第308回日本皮膚科学会北陸地方会, 1984, 2, 金沢.

32) 岩崎光順, 松井千尋, 斉藤陽久, 吉田象二: Multicentric Reticulohistiocytosis の1例. 第612回日本皮膚科学会東京地方会, 1984, 5, 東京.

33) 高階伴子, 北村謙次, 斉藤明宏, 置塩良政, 塚田貞夫: 血管腫に対する Mg 針の利用. 第24回日本形成外科学会北陸地方会, 1984, 9, 金沢.

小 児 科 学

教 授	岡 田 敏 夫
助 授	鈴 木 好 文
講 師	樋 口 晃
講 師	谷 澤 隆 邦
助 手	小 西 徹
助 手	五 十 嵐 隆 夫
助 手	嶋 尾 智
助 手	原 正 則
助 手	山 谷 真 己
助 手	馬 瀬 大 助
文部技官	山 本 雅 子

◆ 著 書

1) 岡田敏夫: 小児の尿路感染症, 今日の治療指針 P. 688~689, 1984. 医学書院.

2) 岡田敏夫: 泌尿生殖器疾患, 国試からみた小児科学, P. 506~529, 1984. 中外医学書院.

3) 小林 收, 岡田敏夫: 学校検尿の進め方・考え方〜検査の実際と事後管理〜; 1984 宇宙堂八木書店.

4) 小林 收編集: Henoch-Schönlein 症候群と鑑別診断; 1984, 宇宙堂八木書店.

5) 鈴木好文: 小児の真性ネフローゼ: 今日の治療指針: 医学書院 1984.

◆ 原 著・総 説・その他

1) 岡田敏夫, 小林 收, 鈴木好文, 小西 徹: 小児期尿管管性疾患と蛋白尿: 小児科臨床 37: 1197~1205, 1984.

2) 村上巧啓, 京谷征三, 五十嵐隆夫, 吉住 昭, 岡田敏夫: 気管支喘息における吸入試験標準化案に関する基礎的検討: 小児科臨床 37: 59~65, 1984.